


別記様式（第7条、第9条関係）

令和 3 年 4 月 13 日

生駒市議会議長 中谷尚敬 様

会派名 市民ネット

代表者の氏名 吉波伸治 

(会派に所属しない議員にあつては、議員の氏名)

令和 2 年度政務活動費に係る収支報告書等について

生駒市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、別紙のとおり
令和 2 年度政務活動費収支報告書等を提出します。

別紙

令和2年度政務活動費収支報告書

会派名 市民ネット

代表者の氏名 吉波伸治

1 収入 政務活動費 180,000円

2 支出

項目	金額	備考
調査研究費	円	
研修費	円	
広報費	214,605円	市議会だより
広聴費	円	
要請・陳情活動費	円	
会議費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	円	
人件費	円	
事務所費	円	
合計	214,605円	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額 0円

政務活動費金銭出納簿

令和2年度

月/日	整理番号	項目区分	摘要	収入金額	支出金額	差引残高
4月27日			政務活動費	180,000		180,000
3月26日	1	広報費	市議会だより(2021年3月議会)印刷代		100,200	79,800
3月30日	2	広報費	市議会だより(2021年3月議会)折込料		114,405	-34,605
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
合 計				180,000	214,605	-34,605

(注) 政務活動費から支出した経費のみを記入して下さい。

政務活動費項目区分別金銭出納簿

[項目区分] 広報費 使途基準表の項目区分を記入

令和2年度

月/日	整理番号	支出区分	摘要	支出金額	支出累計額
3月26日	1	広報紙・印刷料	市議会だより(2021年3月議会)印刷代	100,200	100,200
3月30日	2	広報紙・折込料	市議会だより(2021年3月議会)折込料	114,405	214,605

- (注) 1. 支出した経費を項目別に記入して下さい。
2. 整理番号には、政務活動費金銭出納簿と同じ番号を記入して下さい。

政務活動費項目区分別領収書台帳

[項目区分] 広報費

[出納簿整理番号] 1~2

領収証

No.002604

市民ネット 吉波様

金額

¥100,200



但 市議会だより (2021年3月) 34000部

2021年3月 26日

上記正に領収いたしました

株式会社 第一製版印刷
通販事業部 ウェブプレス
〒641-0036
和歌山県和歌山市西浜1660-421
TEL 073-423-9999

領 収 証

No 000035

市民ネット 吉波伸治 様

金額

¥114,405※

金額の内消費税 円也

但し 2021/04/04分 折込チラシ 印刷

上記の金額正に領収致しました その他()

2021年 3月 30日

株式会社 朝日オリコミ大阪

〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー19階
電話 06(6226)1290(代) FAX 06(6226)1391

受取人

/

商品情報

個別商品ID WP040175

商品名 B 4 チラシ

種別 表 4 色/裏 4 色

納期 1営業日納期

用紙 コート<87kg>

断裁

部数 34000

価格 100,200円

オプション 見本10部：クロネコDM便/

ご注文日時 2021-03-26 17:59:48

発送日 2021-03-29

商品のタイトル 市議会だより（2021年3月）

2

(株)朝日オリコミ大阪様

折込 お願い

吉波伸治 (〒630-0121 生駒市北大和3-2-7)

【1】折込サイズ B4 (両面)

【2】「市議会だより (2021年 3月議会)」 33550部

【3】折込の新聞・エリア

(1) 朝日新聞	①生駒北	4500
	②生駒南	4100
	合 計	8600
(2) 毎日新聞	①生駒	5800
	②東生駒	1800
	③学園北	1200
	合 計	8800
(3) 読売新聞	①生駒	2700
	②生駒北	2200
	③東生駒	2350
	④学研登美が丘	1000
	合 計	8250
(4) 産経新聞	①生駒	2550
	②東生駒	1250
	③生駒NT	800
	合 計	4600
(5) 日経新聞	生駒市	3300
(*) 総合計		33550

(以上、よろしく申し上げます。)



市議会だより (2021年 3月議会 速報)

生駒市議会 市民ネット 吉波伸治よしなみのひろる

発行人：吉波伸治

〒630-0121 生駒市北大和3-2-7

TEL&FAX：0743-84-4355

(市民ネットの「市議会だより」は、政務活動費を活用して作成・配布しています。)

【1】2つの大切な事業が失われた！

「産湯(不要なもの)と一緒に赤ん坊(大切なもの)を流すな」という言葉がありますが、この3月24日に閉会した3月定例議会は、財政難を防ぐには不要な事業はなくさねばならないとの議論の中で、「産湯を流そうとして赤ん坊を流してしまう」という失態を演じてしまいました。流されてしまった赤ん坊は、「マイサポ」と「移動図書館」です。

(1)マイサポとは、市民全員が、応援したいと思う芸術活動・社会課題解決活動などを行う市民団体の活動を選んで投票し、その投票数に応じて各活動への助成金額が決まるという事業です。

この事業は、公的援助と市民の叱咤激励によって、ららポート(市民活動を公的に支える市の機関)への登録団体(生駒市で市民活動することを届け出て支援を受ける団体)を増大させるなど、市民活動を活性化させるのに大きな力を発揮してきました。

私は、討論でそのことを力説しましたが、理解を得られず、マイサポ廃止議案が可決されてしまいました。これにより、市民活動活性化にとっての最強のツール(手法)が失われました。

◆令和3年3月定例会 3月24日◆												
議案第13号 <マイサポ廃止議案>												
賛成				反対				出席				
21				2				0				
山下 一哉	中嶋 宏明	中尾 勲子	梶井 憲子	加藤 裕美	上村 京子	神山 聡	改正 大祐	松本 守夫	片山 誠也	沢田 かおる	山田 耕三	
轟比呂野 幹夫	成田 智樹	吉村 善明	竹内 ひろみ	浜田 佳貴	塩見 牧子	中浦 新悟	吉波 伸治	伊木 まり子	白本 和久	福中 眞美		

(生駒市議会HPの録画配信より/議決に加わらない議員の氏名は不表示です。)

(2)移動図書館とは、ブックモビル(本の自動車)ともいい、本を積んだ車を図書館から遠く離れた地域に移動させ、一時的に図書館とするもので、図書館機能を充実させる事業です。

私は、討論で次のことを訴えました。

①この事業は、図書館から遠く離れた地域で暮らす市民の知る権利、つまり基本的人権を保障し、行政サービスを市民平等に提供するために必須の事業。②図書館はコストに見合うだけの効果があるのか?と発せられる疑義に対する答は、警察組織の改革、ごみ収集の徹底、落書き対策を行なうと共に公共図書館機能を充実させることで、凶悪犯罪都市といわれてきたニューヨーク市を全米で最も安全な大都市に変革したジュリアーノ第107代ニューヨーク市長の「図書館の建設や運営には莫大な資金がかかる。しかし、図書館が市民や社会にもたらすものは投資をはるかに上回る。」との言葉で、この、図書館には凶りしれない力があるという見方こそ図書館についての正しい見識。③「シリアの秘密図書館」(シリアの戦場で戦いをくぐり抜けて軍事勢力の目を盗んでつくられた図書館)「アフガンの移動図書館」(アフガン山岳地帯での自転車による移動図書館)「東北被災地での本を届けるボランティア活動」「第107代ニューヨーク市長の言葉」などは、「本を読むことは人間が人間であり続けるために必要だということ」が日本のみならず国際的な常識であることを示している。④関西でいえば北摂地区、関東でいえば多摩地区の図書館先進地は例外なく魅力ある文教都市として名を馳せ、ファミリー世帯等が住みたい都市とな

っているが、移動図書館が開設できないようではとうていみんなが住みたい優れた文教都市にはなれない。

以上のことについて過半数の議員の理解を得られず、移動図書館事業費を新年度予算から削除する案が可決されてしまいました。

◆令和3年3月定例会 3月24日◆												
議案第31号 (委員会修正案) <移動図書館事業費削除>												
賛成				反対				出席				
16				7				0				
山下 一哉	中嶋 宏明	中尾 勲子	梶井 憲子	加藤 裕美	上村 京子	神山 聡	改正 大祐	松本 守夫	片山 誠也	沢田 かおる	山田 耕三	
轟比呂野 幹夫	成田 智樹	吉村 善明	竹内 ひろみ	浜田 佳貴	塩見 牧子	中浦 新悟	吉波 伸治	伊木 まり子	白本 和久	福中 眞美		

(生駒市議会HPの録画配信より/議決に加わらない議員の氏名は不表示です。)

【2】4つのお願い

新年度予算の審査の中で特に大切だと気づいた4つのことを討論の中で市と議会に次のようにお願しました。

(1)「まちサポいこま」(市の定めた基準に合った公募市民活動から市が5つ程度選定して助成金を支給するとの事業/新年度よりマイサポいこまに代わるものとして実施される)について。

これは、マイサポのような有効性はなく、また、市の基準に合わないものや市の選定にもれたものは助成しないという制限・規制を市民活動に加えるという点が弊害が

発生することが危惧される事業。そこで、しかるべき時期において、その有効性や弊害について検証し、有効性が低かったり弊害が発生すれば改善し、改善が不可能であれば、マイサポをバージョンアップして復活させるなどの対応をしていただきたい。(なお、現在放映中の朝ドラ「おちょやん」では、井川遥さん演じる舞台女優が、国の選定にもれたものは上演させないという制限・規制を演劇活動に加える日本から出るしかない、と追い詰められる姿が描かれています。)

重要議案は、内容に応じて各委員会で審査されたのち、本会議で討論を経て議決されます。



議会コンシェルジュ

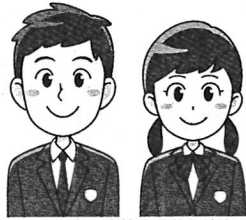
(2)「高校生をターゲットとした人材育成をも内容とする複合型コミュニティづくり」について。

高校生をターゲットとした人材育成とは、地域活動を企画立案し、事業を推進する担い手を継続的に創出するための高校生を対象とした人材育成事業ですが、行政と高校生とのかわりといえば、08年10月に高校教員に衝撃を与えた次の事件が起こりました。

家庭の経済状態が良くない私立高校の生徒12人が勇気を絞って、ある自治体の知事と面会し、私学助成を削減しないようお願いしたところ、その知事は温かい言葉を返すどころか、「日本はまず自己責任が原則。誰も救ってくれない。国を変えるか、自己責任を求められる日本から出るしかない。」と返しました。

いじめと一緒に、加害者がどういう気持ちでいったかはともかく、生徒は、あまりに冷たくヘイトスピーチのような恫喝まがいといえる言葉に泣き出してしまいました。高校生は「純真な幼児

(おさなご)」と「賢明な大人」を併せ持つ存在です。その高校生が泣き出すということは安全を脅かされ、安心を破壊されたということです。この事件は、行政が用意した場でも生徒の安全・安心が脅かされ破壊されることもあるということを教えています。このことを踏まえていただき、高校生の安全・安心を確保する体制を万全にしながらか複合型コミュニティづくり事業を進めていただきたい。



日本の未来・高校生を泣かすな!

〔3〕生駒市の児童・生徒の安全・安心について。

残念ながら、生駒市内の中学校で、部活動中の生徒が病院に運ばれるという事案があり、最近では女生徒が安心を脅かされるという事件があり、いじめもなくなっていません。つまり、生駒市にも生徒の安全・安心が脅かされている学校があるということです。学校で児童・生徒の安全・安心を脅かすものに、指導が生徒を苦しめる指導苦、いじめ、体罰、があります。これらを以下、いじめ等といいます。

さて、学校には2種類あります。「いじめ等が起こりようのない学校」と「いじめ等が起こり得るのでいじめ等に係る対策をとっている学校」です。後者は、いつでもどこでもいじめ等がおこるといって児童・生徒の安全・安心が脅かされている学校です。いつでもどこでも安全・安心に生きられるというのは人間が生まれながらに持っている権利、つまり基本的人権です。後者の学校は基本的人権が保障されているとはいえない学校で、収容所のようなものです。いじめ自殺、体罰死、指導死で苦しみながら死んでいった児童・生徒や今現在、いじめ等で苦しんでいる児童・生徒にとって学校は、行きたくないけど我慢して過ごす収容所なのです。いじめ等で苦しんでいる児童・生徒から気持ちを聞き出してください。そのことが分かります。ただし、その児童・生徒から信頼されていなければ何も聞き出すことはできません。児童・生徒の本当の気持ちを知るには信頼関係を築いた上で顔を突き合わせて話さなければなりません。いじめ等の問題についてアンケートを取る学校がありますが、こんなもので児童・生徒の気持ちが分かると思っていることが「いじめ等が起こりようのない学校」にしていく力とノウハウがないことを露呈しています。「いじめ等が起こりようのない学校」とは、「自らの基本的人権を守ると同時に他者の基本的人権を尊重する人間として児童・生徒が成長していける学校」で「教員同士、教員と児童・生徒、児童・生徒同士がそれぞれ、信頼関係で結ばれている学校」です。一言でいうと「みんなが楽しい学校」です。かかる学校のつくり方が分からなければ、かかる学校の、管理することを主任務とする教員以外の教員に教えてもらい、「いじめ等が起こり得るのでいじめ等に係る対策をとっている学校」を「いじめ等が起こりようのない学校」に転換していただきたいと思います。いじめ自殺、体罰死、指導死という学校を原因とする児童・生徒の死亡、つまり、「先生がいたから、あるいは、先生がいたのに」児童・生徒が死んだ、ということが起こってからでは手遅れです。

(4) この3月議会で感じられたのは、生駒市の行政・議会ともに、発想力・創造力・実行力といった当事者が持つ力である「エンパワーメント」への理解が薄いのではないかとということです。市民団体の力を削ぐようなマイサボとまちサボとの交代がなされ、

図書館司書の力の発揮を阻むように移動図書館開設予算の削除がなされ、いじめがなくなっていないという報告だけで終わっている。そこで、市民活動には市民団体の、図書館活動には図書館司書の、学校には現場教員の、それぞれの「エンパワーメント」が発揮できる環境づくりを行政・議会共に努めていただきたい。

【3】朗報!

預かり保育とは、教育時間終了後も希望に応じて園児を預かる保育ですが、一昨年10月、その料金が幼保無償化を機に値上げされました。これは、子育てで苦労している保護者に経済的な負担増のみならず、自分たちは公的支援から取り残されたという精神的な苦痛をもたらしました。そこで、保護者の方々は、昨年、3月9日に、「公立幼稚園の預かり保育料値上げの撤回」をお願いする1299人の署名を市長あてに提出されました。それよりちょうど1年後の今年3月9日、この3月議会会期中の市民文教委員会で、市は、保護者アンケートを踏まえ、コロナ禍による子育て世帯への経済的支援や子どもの居場所づくりの必要性の明確化を機に、預かり保育料金を一昨年10月の値上げ前の水準に値下げすると報告しました。約1300人の署名を集めて提出された保護者の方々の願いが実現したことを喜び、市当局の英断に感謝申し上げます。



【4】全国から期待される!

環境モデル・SDGs未来都市 生駒市

いこま市民パワー(株)はエネルギーの地産地消をめざす自治体電力事業ですが、昨年9月より開始された市内一般家庭への電力供給の応募数が伸び悩んでいることがこの3月議会で報告されるなど活動が必ずしも順調に進んでいるとはいえません。しかし、



再生可能エネルギーの地産地消を!

この事業は全国で初めて市民団体も参画(出資)している注目の自治体電力であり、ポストコロナ社会構築の鍵はコモン(共有財/電力・水・住居・医療・教育などみんなで共同管理すべきもの)にありとの説を唱えてブレイクした若手経済学者の齋藤幸平氏がこの事業を次のように最先進的な事業として期待をこめて全国に紹介しています。

この事業を行政と市民との協働で推進・発展させることが環境モデル都市にしてSDGs未来都市である生駒市に全国から期待されています。

~いこま市民パワーは、環境に優しい太陽光発電を地産地消する。電気代は街に落ちて、地域経済を潤す。さらに、電力事業の収益も地域の活性化という公共目的のために使われる。脱炭素化を進めると同時に、地域の文化的・社会的エネルギーを高めていく。原発や石炭火力発電所が、大企業のもうけのために住民の意向に反して建設され、環境を汚染し、その利益が配当として株主に渡っていくプロセスとの違いは一目瞭然。地域を超えて、地球規模の環境問題を動かす可能性さえも秘めている。~
 <毎日新聞「齋藤幸平の分岐点ニッポン」(20.6.7)より抜粋>

【5】ご案内

上記の私の討論の全文は、公式HP(「よしなみのぶはる」「吉波伸治」で検索)の「新着情報」に記載していますのでご一読ください。